

食物アレルギー等に関するアンケート

1 学校種 幼稚園 ・ 小学校 ・ 中学校 ・ 高等学校（全・定） ・ 支援学校（小・中・高）

学校番号 （ ） ※学校種で幼稚園を選択した場合は学校番号不要

2 問合せ先 （ — — ）

3 学校所在地 （ ）市・町・村

4 幼児・児童・生徒数（平成28年2月1日現在） 男（ ）名、女（ ）名

5 アレルギーの実態について

(1) 食物アレルギーのある幼児・児童・生徒数 男（ ）名、女（ ）名

※食物アレルギーのある子どもがいない場合は（8）に進んでください

(2) 食物アレルギーの原因物質について（個人の複数回答可）

原因物質	人数	原因物質	人数
鶏卵		軟体類（タコ・イカ）	
牛乳・乳製品		果物類（キウイ、パイン等）	
小麦		魚類	
そば		貝類	
大豆		肉類	
ピーナッツ		野菜類（トマト、人参等）	
種実類・木の実類（※）		その他1（ ）	
甲殻類（エビ・カニ）		その他2（ ）	

※ 種実：ゴマ 等 ・ 木の実類：アーモンド、クルミ、カシューナッツ、栗 等

(3) 個別支援管理表を作成していますか？

（ ）作成している。

（ ）作成していない ⇒ 理由（ ）

(4) 緊急用のエピペン[®]を持参している幼児・児童・生徒数は？

男（ ）名、女（ ）名

※エピペン[®]を持参している子供がいない場合は（8）に進んでください

(5) 緊急用のエピペン[®]を園または学校で投与したことがある幼児・児童・生徒の延べ人数は？

男（ ）名、女（ ）名

(6) エピペン[®]を園または学校で投与したことがある幼児・児童・生徒には、誰が投与しましたか？

投与した延べ回数で回答ください。

本人（ ）回 養護教諭（ ）回 教諭（ ）回

管理職（ ）回 保護者（ ）回 救急隊員（ ）回

その他（誰が？）（ ）回

(7) エピペン®を園または学校で投与した時、症状がはじまってどのくらいの時間で投与しましたか？
投与した延べ回数で回答ください。

30分未満 ()回 30分以上60分未満 ()回
60分以上120分未満 ()回 120分以上 ()回

(8) アレルギー（気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、花粉症、蕁麻疹、食物アレルギーなど）で、年間のべ1か月以上の欠席がみられる幼児・児童・生徒数は？

男 ()名、女 ()名

(9) アレルギー（気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、花粉症、蕁麻疹、食物アレルギー、食物依存性運動誘発性アナフィラキシーなど）で、体育や課外活動に制限のある幼児・児童・生徒数は？

男 ()名、女 ()名

6 給食の実態について

(1) 給食の形態等について

- () 給食センター
 () 自校給食（栄養職員が常駐）
 () 自校給食（栄養職員が非常駐）
 () 給食がない
 → ここに該当する場合は、質問7に進んでください。
 () 他 ()

(2) 食物アレルギーの子どもへの誤食時の対応方法を決めていますか？（複数回答可）

- () 決めていない。
 その理由 ()
 () 何らかのアレルギー症状が生じたら、保護者へ連絡する。
 () 何らかのアレルギー症状が生じたら、病院へ搬送する。
 () 無症状でも、保護者に連絡する。
 () 無症状でも、病院に搬送する。
 () エピペン®をうつ。
 () 子どもへの重症度や、誤食した食物の種類によって、対応法を個別に設定している
 () 他 ()

(3) 食物アレルギーのために、対応食（除去食・代替食）を提供している幼児・児童・生徒数は？

男 ()名、女 ()名

(4) 月に1回以上、自宅から弁当（一品持参を含む）を持参している幼児・児童・生徒数は？

男 ()名、女 ()名

(5) 対応食（除去食・代替食）提供の決定に参考としているものは？

- () 医師による管理指導表や診断書を求めている
 () 診断書がなくとも、保護者からの申し出にて決定している
 () 他 ()

7 校内でのアレルギー対応に係る職員研修について（今年度になってから）

- () 全職員を対象に実施した
 () 該当学年の職員を対象に実施した
 () 実施していない

8 園または学校管理下で、食物アレルギーによる何らかの症状が出た事例があれば、そのときの状況（原因・症状・経過・対応等）についてお聞かせください。（平成24～27年度に経験した事例について）

発生時間（場合） （給食・調理実習・宿泊等）	どういう状況 （学年・性・原因・症状・経過・対応等）	その後の対策など
<例> [26 年度 2 月] 発生時間(場合) 5時間目の体育の時間	中2男子 乳アレルギー 給食での対応はしておらず、牛乳を止めているのみ。最近では、少しずつヨーグルトを食べられるようになってきている。給食に「フルーツのスキムミルク和え」が出た。スキムミルクの量は少ないので、大丈夫と自己判断し食べ、おいしかったので友人からももらって食べた。5時間目の体育で運動を始めたら全身が痒くなった。すぐに保護者に連絡し病院へ連れて行ってもらった。	本人と保護者、担任とアレルギー献立の内容について確認するよう共通理解を図る。 緊急時の対応について再度確認する
[年度 月] 発生時間(場合)		
[年度 月] 発生時間(場合)		

9 給食や宿泊研修など学校生活全般で、食物アレルギーのある幼児・児童・生徒（保護者も含む）への対応で、苦慮していること（迷い・困り・不安など）があれば記入してください。

ありがとうございました。